

事業所名：すてっぷ

2022年度実施

配布数：8 回収数：8 割合：100%

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・部屋が少ない。子どもがクールダウンしたり落ち着いたりする部屋があると良いと感じている。 ・理想はもうワンフロアがあると良いと思う。 ・必要に応じてパーティション等を用いて空間を区切るなど、工夫をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・配置基準は満たしている。なるべく手厚い配置となるようにしてる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・主となる部屋はワンフロアなので、個別になる空間の確保が難しい。 ・ワンフロアのため分かりやすい。 ・バリアフリー化がされていない箇所もある。 ・音が響く点が改善できると良い。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせてパーティションで空間を変えたりしている。 ・毎日、朝・夕と、掃除の際は次亜塩素酸ナトリウムを用いて清掃をしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員とは半期ごとに行っている。 ・日々の小さな気付きは毎日の振り返りで行っている。 ・業務全体の検討やケースの検討等は職員会議の際に行い、なるべく全員が参加できるようにしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・法人のホームページで公開している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・法人のホームページで公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関等の外部評価は行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続いているが、オンラインの研修を活用し、研修参加をしている。地域の児童発達支援センター主催の研修会等へは極力参加している。 ・新版K式発達検査の講習へ参加。今後も職員の資質向上のため、研修参加を促す。
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の中で子どもの姿を確認している。また、保護者より聞き取り等をした上で計画作成を行っている。半期ごとにモニタリングを行い、計画の変更をしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援」として、子どもの発達に応じた活動や遊びの計画を立て実施。発達検査、知能検査を行い、保護者と一緒に子どもの理解を深めている。また、就学に際して具体的な助言を行っている。 ・「家族支援」として、子どもの相談支援に加え、兄弟児への相談や支援（親子教室へ一緒に参加）、緊急の送迎援助等、個々の状況に応じて行っている。 ・「地域支援」として、保幼等や学校との連携、事業所や保健師等と連携を行い、子どもや家族の支援を行っている。 ・以上のことを計画に盛り込み、計画やモニタリングでの懇談時に説明している。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8				

援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・毎月1回は、活動プログラムを立てる会議を行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			・定番の活動もあるが、グループの様子を確認し、その都度変化を入れながらプログラムを提供している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8			・個人へ焦点をあてつつも、集団活動を意識したものとしている。また、日々の振り返りや会議で出た意見を活動・計画へ反映できるようにしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			・毎朝の朝礼の際に事務連絡・利用児の確認・活動内容・職員の役割などを確認。また、終礼時にも翌日の確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			・毎日、支援終了後に必ず振り返りの時間を取り、職員間で共有している。また、記録を取り休みの職員も確認をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・支援終了後の振り返りは記録を取りながら行っている。支援の検証・改善へつなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・半期に一度、定期的に見直しを行っている。職員間でケースの振り返りや支援のポイントを確認している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		・必要な連携は適宜行っている。こちらからも必要だと感じた際は会議開催を依頼している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8			・こども発達支援センター、保健師とは必要に応じて連携をしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	5	・現在、医療的ケアが必要なお子さんの支援は行っていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	1	5	・現在、医療的ケアが必要なお子さんの支援は行っていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			・連携が必要なケースについては、情報共有を主とした連携を行っている。コロナ禍で難しいが、了解が得られた園には直接訪問して子どもの様子を確認し、支援の在り方を一緒に検討をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			・保護者から希望があった際や、必要と感じた場合は積極的に連携を行っている。放課後等デイサービスや相談支援事業所と共同して連携を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			・児童発達支援センター主催の研修会等には極力、参加するようにしている。必要に応じて、ケースの相談をする、ケースの助言を受けることもある。 ・事業所間の連携も行っており、子どもの共通理解に役立っている。 ・広島県東部地域の事業所が集まった協議会があり参加している。協議会主催の役員会や研修にも参加し、密な連携を行っている。また、市内の児童発達支援事業所の協議会もあり、こちらにも参加することで地域の状況を確認している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	・併行通園のお子さんが大半ということもあり、特別な試みは行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		2	・事業所管理者が自立支援協議会(福山市総合支援協議会)の部会へ委員として参加している。また、上記の通り、事業所が集まる連絡会等へも参加をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・連絡帳を用いて日々の様子は伝えあっている。また、必要に応じて電話連絡や面談等を行い、一緒に考える機会を大切にしている。 ・発達検査や知能検査を行い、保護者とも共通理解を深めていけるようにしている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	2	3	・プログラムを組んでの支援は行っていない。必要に応じて、お子さんとの関わりについて・大切だと思うこと等をお伝えしている。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・利用開始前に説明をしています。運営規定や重要事項説明書を掲示していたが、子どもが手に届く場にあったため、掲載場所を検討している。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			・毎年、5～6月、10～11月、2～3月に個別懇談の時間を取っている。ガイドラインを参考にし、個別支援計画の作成をしている。懇談の際、保護者から同意を頂き、ご署名を頂いている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・送り迎えに来られた際のお話や、連絡帳の内容等から必要と感じた際に助言等を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7		1	・保護者会（またはそれに準ずる会）の運営開催は行っていないが、月1回の参観日を利用して、保護者との懇談会を設定している。コロナ禍が続いており、状況に応じて行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・連絡帳を用いて、日々の様子や保護者の気持ちを書いていただいている。また、必要に応じて保護者と連絡を取り、相談に応じている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・隔月に「つうしん」という名の会報を作成し、活動報告を行っている。また、月末には翌月の活動スケジュールもお渡ししている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			・個人情報事業所から持ち出さないこととなっている。 ・利用開始前に、個人情報同意書の説明を行い、確認・署名を頂いている（控えを保護者も所持）。法人のホームページや広報誌に写真を掲載する場合は、再度、保護者に確認を取っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・子どもに対しては、例えば目で見て分かるような配慮・工夫を行っている。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	2	・ここ3年間はコロナ禍で行事等は中止している。 ・コロナ以前は、事業所単位では行っていないものの、法人として地域行事への参加を含め、法人が企画した行事等へ参加していただいている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8			・各種マニュアルは公表していないが、簡易版を作成し、利用開始前に書面にて説明している。 ・単独クラスは退避訓練をそれぞれ行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・同上。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8			・利用開始前に確認をしている（フェイスシートへ記載してもらっている）。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		1	・利用開始前に確認をしている（フェイスシートへ記載してもらっている）。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7		1	・法人規定のヒヤリハット報告書があり、活用している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・法人内には虐待防止委員会を設置しており、法人内で確認、共有出来るようになっている。毎年、法人主催の研修会に参加し、虐待防止・権利擁護について学習を深めている。今年度は事業所ごとに研修DVDを視聴しディスカッションを行った。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7		1	・計画へ記載はしていないが、契約書・重要事項へ記載し説明を行っている。 ・危険な行動があった場合は、状況によって行動を止めることもある。 ・身体拘束を行うケースはないものの、虐待防止の研修を行うことで理解を深めていく。

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

事業所名: すてっぴ

配布: 46、有効回答数: 35、回収率: 76%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32		3		・施設内は狭いように感じるが、屋外でも活動スペースとするなら、十分なような気はする。 ・全体集合すると少し狭いと感じるが、概ね確保されていると思う。	基準は満たしていますが、屋内や園庭の広さには限りがあります。工夫しながら対応していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32			3	・子ども1名に対して、必ず職員が付いてくれているので適切だと思う。 ・常に子ども一人ひとりの行動をよく見てくださっています。	職員配置は基準を満たしています。今後も研修等へ積極的に参加していくなど専門性の向上に努めていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31		1		3 ・表の門が新しくなったが、開ける・閉めるが標記されているので分かりやすい。送迎にベビーカーを使用することもあり、ベビーカーでの移動は少し段差等もあって難しいように感じた。 ・朝の会の場所・活動の場所と分けていて分かりやすいと思います。	築年数も長くなり、古い箇所も増えてきました。危険と思われる箇所については引き続き修繕や改修、買い替えをしていきます。生活空間については、視覚的な情報も多すぎると刺激に繋がりがやすいため、子どもの様子を確認しながら調整しています。玩具等についても、時間や空間を意識して使用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33		1		1 ・利用終了後は先生方が掃除をされているのを見かけるので清潔だと思う。 ・いつも清潔にされていると思います。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ii が作成されているか	34		1		・毎回、児童発達支援計画が子どもに合った内容になっているので分かりやすい。	利用開始前に、保護者の方からお話を伺い、また、お子さんの様子を確認した上で、計画作成を行っています。その際、ガイドラインを参考とした計画作成をしています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29		2		4 ・「発達支援ガイドライン」がどんなものか分かりません。契約時に見ていたりするかもしれませんが、1年以上経つと忘れてくるので、個別支援計画を見せていただく時に一緒にあると良いかと思えます。	地域支援の一環として、保護者の方々のご希望を伺いながら、事業所や保幼・学校との連携を行っています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33		1		1	支援・活動については、併行通園のお子さんが大半という状況を考慮した内容となっています。
	8 活動プログラム※iii が固定化しないよう工夫されているか	34			1	1 ・散歩の活動が続くことはあるが、その日その日で宝探しがあったり等、工夫されていると思う。 ・日々の支援の中でこの活動プログラムがなされているか聞いていないので分からないです。いつもやっているんでしょうか？ ・様々な活動を取り入れてくれています。	日々の振り返りにを元に、毎月、会議を設け、活動プログラムを立てています。季節が感じられる活動を大切に、活動を繰り返すことで、子ども自身が手がかりを見つけ、見通しが持てるようにしています。また、馴染みのある活動にも随時変化を加え、子どもたちがワクワク出来るよう工夫しています。今後も、スタッフ全体で活動の狙い・意図をシェアしていきます。お便り等でも皆さんにお伝えできればと考えています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15		4	4	12 ・認定こども園、幼稚園等との交流は聞いたことはないが、動物園に行ったりでんぐりかっぱへ行ったり、出先で地域の子とたちの接触する機会があった。 ・通常の集団は保育所等で経験できているので発達支援は個々の支援重視で良いと思います。 ・コロナのためなと思います。	併行通園のお子さんが大半ですので、現状では考えていません。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35				・利用開始の前に説明があった。	利用開始前の説明会・契約の際に、説明をさせていただいています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	34				1 ・懇談の際、話がされている。 ・ガイドラインが分からないので、基づいて作成されたか判断できません。	個別支援計画は、ガイドラインを参考に作成されています。懇談等を活用して、説明をしています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※iv 等)が行われているか	20		2	2	11 ・機会を増やして欲しいです。 ・そういったプログラムでなくても支援はしていたらいいので、有難く思っています。 ・ペアレント・トレーニングになるか分かりませんが、いつも相談するとアドバイスをもらえます(困りごとの対処法など)。	ペアレントトレーニングとしては行っておりませんが、保護者の方々からの相談には真摯に対応し、具体的な関わり方や対応方法を伝えています。子どもの困った行動に埋もれ、時に見逃しがちな子どもの願いや、可愛さ、素敵な面への発見に繋がるよう助言をしています。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか	33		2		・保育園での様子を連絡帳に細かく記載して情報を共有するようにしている。 ・いつもよく話を聞いてくれて悩みなどを気持ちを楽にしてくださっている。	連絡帳を活用し、日々の様子をお伝えし、また、保護者の方からのご相談等についても出来る範囲ではありますが、対応させていただいております。単独通園が主の事業所ということもあり、保護者の方とお話をする機会が限られています。保護者の方から気軽に話していただけるよう、顔の分かる関係作りを努めていきたいと思っております。今後も専門性の向上と共に、保護者の方と一緒に、お子さんの理解を深めていけるよう努力してまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34		1		・年に2回、懇談が設けられているので、そこで助言等、話は出来ている。 ・いつも解決策を考えてくれるのでぐくぐく支えられています。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27		4		4 ・月に1回、参観日があるが、コロナの状況によっては中止になることもあった。 ・単独通園になってからは、保護者同士の関りもほぼなく、一緒にクラスの子の学年も分からないので、もう少し親同士が話せる機会があると良いです。特に同学年は今後の進み方が同じなので、機会があると良いと思います。 ・保護者同士で悩みを共有したり相談できるのですごく助かっています。	今年度は、保護者学習会の開催や、講演会へ一緒に参加する企画を設けました。しかし、コロナ禍ということもあり、いろいろな制限はありました。保護者の方同士でお話出来る環境や工夫が出来ればと私たちも思っています。引き続き、検討していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33		1		1	ご相談がありましたら、なるべく早く対応できるようしております。基本的には児童発達支援管理責任者、クラス担当が対応させていただくようになりますが、どの職員でもご相談に対応できるよう、情報共有を図ってまいります。
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	34		1				

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	28	3	1	3	・月に1度、配布される「すてっぷ通信」で活動の様子を見せてもらっている。保育園とは違った表情で生き生きして楽しそうだと思って毎回見ている。 ・「業務に関する自己評価の結果」は今まで聞いたことがないかと思います。活動内容は定期的におたよりをいただくので、分かりやすく楽しみにしています。	奇数月に「つうしん」という名の会報を準備し、活動内容や行事についてお伝えをしています。自己評価の結果については、ホームページに記載しています。 親子のクラスは共有できているため会報を出していません。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	35				・コロナで行けない時期が続いた時、活動の写真を買いたいことを話したが、個人情報のことを言われていたので、注意されていると思う。	個人情報の取り扱いについては、利用開始前に確認・同意を頂いております。ホームページや広報誌へ写真を載せる場合、改めて保護者へ確認した上で掲載しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22	1		12	・アルコールは置かれているので、見かければ消毒するようにしているし、子どもにも消毒するよう声かけている。先生方がされているかは分からない。 ・訓練を実施されているか分からない。 ・マニュアルはあるかもしれませんが、教えてもらってないと思います。 ・コロナ前は避難訓練をやっていたかと思いますが、今はやっているかどうか分かりません。	消火器及び火災報知機の点検は定期的に行っております。マニュアルについては利用開始前に、書面にて説明をさせて頂いております。 感染症の予防については、日常的に衛生管理を行っております。引き続き、対応をまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	2	1	13		災害時を想定した避難訓練は、現在、単独クラスのみ行っています。今年度は「つうしん」等でお伝えできていないクラスもあり失礼いたしました。今後も継続して訓練等を行い、保護者の皆さんにもお伝えしていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	35				・通所はもちろん先生が大好きで、いつも通所する日を待ちどししている。 ・週に1回ですが、とても楽しみに通っています。この3月で終了するので残念です。 ・身体をしっかりと動かしたりすることができるので楽しいみたいです。 ・いつも楽しみにしています。本当にありがとうございます。 ・毎日楽しみで仕方ないようで、毎日「今日はすてっぷ？」と聞いてきます。 ・いつも楽しみにしています。 ・毎回すごく楽しみにしています。いつもありがとうございます。	保護者の皆さんにとって安心してお子さんを預けて頂ける事業所を目指し、今後も努力してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	34	1			・子どものことを認めていただき、頑張っているところをしっかりと褒めて下さるので、親としてもとても嬉しいです。 ・こちらに来るようになり、たくさん成長したと感じます。先生たちのおかげだと思います。 ・相談しやすい環境なので有難いです。 ・先生方もとても優しく満足しています。	「楽しかった！」「また行きたい！」と、子どもの気持ちが前のめりになり、見通しを持って生活していけるよう今後も支援の充実を図っていきます。

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。